新　刊　紹　介

理學博士 故田中宗愛著 "**星と人生**" 東京恒星社　　價 1.50

田中博士の此の著は，昭和9年に初版が出たものであるが，同氏が去る14年に急逝された事は天界第19卷第140頁と第206頁とにある．氏は化學の專門家であるが，深く天文學を愛し，生前熱心に研究と普及とに勤められた．この書物は講演を原として潤色されたもので，改訂版には村上春太郎氏と令兄正治氏との序文が加へられてゐる．全卷，天體に關する一般の知識が盛られ，約160頁中には43ケの圖版も入れ，誠に手頃な通俗書である．――通讀して行くうち，初版の誤りは適當に訂正され，木星の新衛星數も，新星の爆發說も採り入れられてゐる．(只，この爆發が2星の衝突に因るものと書いてあるのはよけいな言である．) 第139頁に，リトルトン等の連星說が簡單に書いてあるのも親切である．

初版にも，この改訂版にも，共に修正されてゐない個所は，第28頁にブラドリがテイムス河でボートを漕いでゐて光行差を思ひついたとしてあるのは誤りで，之れは，渡船に乘つてゐて，船夫が帆を操作するのを見て思ひついたのである．又，第44頁，地球から月面の7割が見えるといふのは，6割の誤り．第63頁，今日太陽中に見付かる元素は48種でなくて，60種餘である．又，第98頁，海王星を發見したガレは，ベルリン天文臺長でなくて，臺員であつた．(當時の臺長はエンケであつた．) 尙，第145頁，1608年にオランダ國リペルスハイムが發明した望遠鏡は，二つの凸レンズでなくて，凸レンズと凹レンズとを組み合はせたものであつた．又，第146頁，今日世界第二の大反射鏡は，ビクトリヤの "72吋" (183センチ) ではなくて，マクドナルド天文臺の "82吋" (208センチ) 機である．又，第152頁，銀河北極の赤緯は72°でなくて，28°である．それから，第131頁に，初版では，メシエの記事に引き續いて，"精巧な器械がなくては仕事が出來ないと云ふて，不平をもらす近頃の學者にとつて，たしかに頂門の一鍼である" といふ一文があるのに，改訂版では之れが除いてあるのは，誰に遠慮したものか？　又，初めの誤植で，今尙，直されてないのは，第94頁第4行目の "衛生" を "衛星" とすること，第35圖の双子座S星をδ星とすること，及び，第42圖の中の "光源" は "細隙" と直すことである．尙，第28圖は甚だ誤解し易いから全然畫き改めるが宜い．一體に，此の書物は，圖版は立派であるのに，說明がないので，誠に惜しい氣がする．殊に，第27圖や第35圖等は，スペクトルの說明であるが，只，これだけでは初學者には，何のことやら分るまい．

序でに，第125～126頁にある一等星表は，澤山の空白があるので，こゝに補

足して置かう.

恒星名	視差	距離	光年	恒星名	視差	距離	光年
	〃	兆粁			〃	兆粁	
シリウス	0.37	82.2	8.7	アケルナー	0.049	629.	66.5
カノープス	0.005	6100.	650.	アルデバラン	0.046	671.	70.9
センタウル α	0.76	40.7	4.3	アンターレス	0.03	1098.	116.
アークトウルス	0.08	362.	38.3	南十字 α	0.03	1026.	108.5
ヱガ	0.12	154.	26.9	アルゴル	0.03	995.	105.
リゲル	0.006	5110.	540.	スピカ	0.01	2840.	300.
カペラ	0.07	434.	45.9	フオマルホート	0.135	228.	24.1
プロシオン	0.29	106.	11.2	南十字 β	0.002	15400.	1629.
ベテルギウズ	0.01	2840.	300.	レグルス	0.04	750.	79.4
センタウル β	0.036	856.	90.5	アルタイル	0.208	148.5	15.7

【會告】 **會費改正** 【會告】

去る五月の本會總會の席上でも或る會員から提議されたりしたことがありますが，最近，郵便料金の改正や，事務上の諸費用の增加もあり，又，印刷費も二割ばかり値上りになりましたので，本會では取り敢へず役員會を開き，その決議を經て，會費を年額4圓から4圓80錢に改めることになりました．今年八月の分から之を實行します．但し從來の會員は既に納付された會費4圓のほかに，金30錢を郵便切手か，又は何かの方法で送金して下さい．八月以後の新入會者は毎月45錢の割で，年末までの分を送金して下さい．來る昭和18年度からは，全て4圓80錢づつ送金のこと．天界の定價は㊀40錢ですが，會員には特に重要附錄のサービスを致します．

觀測部費は從前の通り年額2圓40錢です．

昭和17年七月26日 東亞天文協會